

霍公鳥ほくととぎすに感めづる情こころづに飽あかずして、懷おもひを述の

べて作つくる歌うた一首 并あはせて短歌たんか

#### 四一八〇番

春はる過すぎて 夏なつ来き向むかへば あしひきの 山やま呼よびと  
よめ さ夜よな中かに 鳴なくほととぎす 初はつこ声ゑを 聞きけ  
ばなつかし あやめぐさ 花はな橘たちばなを 貫ぬき交まじへ  
かづらくまでに 里さととよめ 鳴なき渡わたれども なほ  
ししのはゆ

#### 反歌はんか三首

#### 四一八一番

さ夜よふけて 暁あか月つきに 影かげ見みえて 鳴なくほととぎ  
す 聞きけばなつかし

#### 四一八二番

ほととぎす 聞きけども飽あかず 網あみ捕とりに 捕とりて  
なつけな 離かれず鳴なくがね

#### 四一八三番

ほととぎす 飼かひ通とほせらば 今ことし年へ経て 来き向むかふ  
夏なつは まづ鳴なきなむを